

CubeSuite+用 RL78ファミリ, 78K0R, 78K0 コード生成 ご使用上のお願い

CubeSuite+用 RL78ファミリ, 78K0R, 78K0コード生成 (CubeSuite+ Code_Generator for RL78_78K) の注意事項を連絡します。

- RL78/F13およびRL78/F14グループで、20、30または32ピンパッケージを選択した時の注意事項
- RL78/L12およびRL78/L13グループでの、リモコン搬送波マスク信号使用時の注意事項
- RL78/G12グループでの、A/Dを設定した時の端子配置反映処理の注意事項
- RL78/G14グループで、マイコンに存在しないポートが表示される際の注意事項
- RL78/G1Eグループでの、シリアルアレイユニット1のUART2設定の注意事項

1. RL78/F13およびRL78/F14グループで、20、30または32ピンパッケージを選択した時の注意事項

1.1 該当製品

CubeSuite+用 RL78ファミリ, 78K0R, 78K0コード生成
(CubeSuite+ Code_Generator for RL78_78K) V2.03.00

1.2 該当マイコン

RL78ファミリ: RL78/F13およびRL78/F14 グループ

1.3 内容

RL78/F13およびRL78/F14グループで、20、30または32ピンパッケージマイコンを選択し、クロック発生回路のクロック設定で「CPUと周辺クロック(fCLK)」に分周した周波数を選んだ時のレジスタ設定が出力されません。

1.4 回避策

r_cg_cgc.c ファイルのクロック設定関数 void R_CGC_Create(void) に分周した周波数を選んだ時のレジスタ設定するコードを追記してください。
なお、コード生成を行うたびに手動で追記してください。

例: 「メイン/PLL 選択クロック」で64 MHz、「CPUと周辺クロック(fCLK)」で

32 MHz (fMP/2) を選択した場合

```
-----  
void R_CGC_Create(void)  
{  
    .....  
    /* Set fSL */  
    SELLOSC = 1U;  
  
    /* Set fCLK */  
    CSS = 0U;        // 追記: CPUと周辺ハードウェア・クロックに  
                    //      fMPを使う  
    MDIV = 1;       // 追記: fMP/2 に設定  
    .....  
}
```

1.5 恒久対策

CubeSuite+用 RL78ファミリ, 78K0R, 78K0コード生成 の次期バージョンで改修する予定です。

2. RL78/L12およびRL78/L13グループでの、リモコン搬送波マスク信号使用時の注意事項

2.1 該当製品

CubeSuite+用 RL78ファミリ, 78K0R, 78K0コード生成
(CubeSuite+ Code_Generator for RL78_78K) V2.03.00

2.2 該当マイコン

RL78ファミリ: RL78/L12およびL13グループ

2.3 内容

タイマのチャンネル2で「PWM出力 (リモコン搬送波マスク信号)」を選択した時の出力関数 R_TAU0_Channel2_Stop に誤りがあります。

2.4 回避策

r_cg_timer.cファイルの void R_TAU0_Channel2_Stop(void) で出力されるコードの TO0レジスタへ値を設定している行において、計算式 OR を AND に修正してください。なお、コード生成を行うたびに手動で修正してください。

例:

【修正前のソースコード】

```
-----  
TO0 &= ~_0004_TAU_CH2_OUTPUT_VALUE_1 |  
~_0008_TAU_CH3_OUTPUT_VALUE_1 |  
    ~_0010_TAU_CH4_OUTPUT_VALUE_1 |
```

~_0020_TAU_CH5_OUTPUT_VALUE_1;

【修正後のソースコード】

TO0 &= ~_0004_TAU_CH2_OUTPUT_VALUE_1 &
~_0008_TAU_CH3_OUTPUT_VALUE_1 &
~_0010_TAU_CH4_OUTPUT_VALUE_1 &
~_0020_TAU_CH5_OUTPUT_VALUE_1;

2.5 恒久対策

CubeSuite+用 RL78ファミリ, 78K0R, 78K0コード生成 の次期バージョンで改修する予定です。

3. RL78/G12グループでの、A/Dを設定した時の端子配置反映処理の注意事項

3.1 該当製品

CubeSuite+用 RL78ファミリ, 78K0R, 78K0コード生成
(CubeSuite+ Code_Generator for RL78_78K) V2.03.00

3.2 該当マイコン

RL78ファミリ: RL78/G12グループ

3.3 内容

A/Dコンバータ設定時に「端子配置へ反映」ボタンを押した際、一部の端子において、以下のエラーメッセージが表示され、端子配置への反映がされない場合があります。

E0300004: 端子番号 xxx 番の設定を変更できませんでした。

注: xxxには端子番号が入ります。

3.4 回避策

エラーが表示された端子について、端子配置表で機能を選択してください。
なお、端子配置表を設定しなくてもコード生成が生成するソースには影響ありません。

3.5 恒久対策

CubeSuite+用 RL78ファミリ, 78K0R, 78K0コード生成 の次期バージョンで改修する予定です。

4. RL78/G14グループで、マイコンに存在しないポートが表示される際の注意事項

4.1 該当製品

CubeSuite+用 RL78ファミリ, 78K0R, 78K0コード生成

4.2 該当マイコン

RL78ファミリ: RL78/G14グループ

4.3 内容

RL78/G14グループで、80ピンパッケージマイコンを選択すると、マイコンに存在しないポートであるP80およびP81のポート設定が表示されます。

4.4 回避策

P80およびP81のポート設定をしないでください。

4.5 恒久対策

CubeSuite+用 RL78ファミリ, 78K0R, 78K0コード生成 の次期バージョンで改修する予定です。

5. RL78/G1Eグループでの、シリアルレイユニット1のUART2設定の注意事項

5.1 該当製品

CubeSuite+用 RL78ファミリ, 78K0R, 78K0コード生成
(CubeSuite+ Code_Generator for RL78_78K) V2.03.00

5.2 該当マイコン

RL78ファミリ: RL78/G1Eグループ

5.3 内容

シリアルレイユニット1のUART2を「送信機能」または「送信/受信機能」で使用する時のレジスタ設定に間違いがあります。

5.4 回避策

r_cg_sau.c にあるシリアル初期化関数 void R_UART2_Create(void) の PMC1 および PM1 のレジスタ設定行において、計算式 OR を AND に修正してください。なお、コード生成を行うたびに手動で修正してください。

例:

【修正前のソースコード】

void R_UART2_Create(void)

{

.....

/* Set TxD2 pin */

PMC1 |= 0xF7U;

P1 |= 0x08U;

PM1 |= 0xF7U;

```
.....  
}
```

【修正後のソースコード】

void R_UART2_Create(void)
{
.....
 /* Set TxD2 pin */
 PMC1 &= 0xF7U; // 計算式OR を AND に修正
 P1 |= 0x08U;
 PM1 &= 0xF7U; // 計算式OR を AND に修正
.....
}

5.5 恒久対策

CubeSuite+用 RL78ファミリ, 78K0R, 78K0コード生成 の次期バージョンで改修する予定です。

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。